三笠の北海道中央霊園

ペット合同墓地開園

種別問わず 埋葬・永代供養 一般墓地利用者は無料

北海道中央霊園に開園したペット合同墓地

【三笠、岩見沢】公共財団法人北海道中央霊園（本部・岩見沢市2東16、武田寛理事長）はこのほど、三笠市大里の同霊園内にペット合同墓地「ソメイル・エテルネル」を開園した。

ソメイル・エテルネルはフランス語で「永遠（とわ）の眠り」を意味し、家族同様に愛情を注いで飼っていたペットの安らかな場所でありたいとの思いを込めて、この名前をつけた。

施設は100平方㍍の敷地に高さ2・5㍍、幅1・5㍍、奥行き1・8㍍の御影石製のお墓を設置。上部には「永遠の眠り」をイメージした「地球」と「天」のモニュメントが設置され、誰でも利用することができる。

ペットの種別に関わらず、1体5000円（税別）で埋葬・永代供養できるのが特徴。さらに、同霊園に一般墓地を新規建立する人は「ソメイル・エテルネル」を無料で利用することができる。

また、希望者にはペットの写真やメッセージなどが入り、お墓に取り付けることのできるアルミ製合板のメモリアルプレート（縦7・2㌢、横15㌢）を提供している。

お墓に取り付けることのできるメモリアルプレート

ソメイル・エテルネルは5月30日に開園し、すでに反響が寄せられている。武田理事長は「空知管内ではペットの埋葬施設が少なく、札幌まで行く方も多かった。開園以来多くのお問い合わせ・お申し込みがあります。これからも地域の皆様に貢献したい」と話している。

一方、昨年6月20日に開園した合祀墓地「結の苑」は1年間で300件を超える埋葬・生前予約申し込みがあり、こちらも好評という。

ソメイル・エテルネルの詳細は北海道中央霊園公式ホームページ（http://pet.chuo-reien.com）、問い合わせは同霊園管理事務所（TEL0126・7・3・1511）へ。

【末永直樹】

最後の「ワイン会」盛会で

参加150人 岩見沢ワインを楽しむ会

村木組合長の発声で乾杯する参加者

【岩見沢】岩見沢ワインの応援団で、PR活動などにも取り組む「岩見沢ワインを楽しむ会」（鎌田誠会長）主催のパーティー「第20回岩見沢ワインを楽しむ会」が6月27日夜、サンプラザで開かれた。毎年行われてきたパーティーだが、ことしで最後となることもあり、会場には約150人が詰めかけた。

会の冒頭で鎌田会長は「多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。パーティーは今回で最後となりますが、今後とも岩見沢ワインの応援団として活動を続けていきますので、変わらぬご支援をよろしくお願いします」とあいさつ。

その後、阿部啓吉岩見沢市副市長、北海道ワインの吉川準三篤制作本部長ら来賓があいさつ。村木秀雄いわみざわ農協組合長の発声で乾杯し祝宴に入った。

祝宴で参加者らは、ワインに合わせて振る舞われた料理に舌鼓を打ちながら、昨年、毛陽地区で収穫したブドウを使い製造したイワミザワワインの「セイベル（赤）」と「ナイアガラ&ポートランド（白）」を飲み比べた。

また、豪華景品が当たる抽選会なども行われ、会場は和やかな雰囲気に包まれていた。

【北野弘樹】

ぽすたーDEMO

3日から美唄のゆ～りん館 ビアガーデン始まります

「夏はビアガーデンで、ジンギスカンと冷たいビールをどうぞ」。美唄市東明町3区のピパの湯ゆ～りん館で3日、ビアガーデンがオープンする。無料送迎バスを運行し、31日までの毎週金曜日に開設する。

野外特設会場を設け、午後5時50分から8時半までの営業で、雨天決行。ゆ～りん館料理長特製の味付きジンギスカンセットと、ビール1杯各500円のほか、各種単品おつまみを用意する。

無料送迎バスはJR美唄駅西口を午後5時40分、6時40分発を運行（要予約）。ゆ～りん館発は8時、9時の2便。

無料送迎バスの予約、問い合わせはゆ～りん館、TEL64・3800まで。

◇　◆

《お店のPRも》

イベントや割引き、感謝、周年セールや行事など気軽に本紙にお寄せください。ただし、手書きでも印刷物でも問いませんが、ポスターなどは必須条件になります。

池坊巡回講座

本部の講師が立花手本

立花の基本を解説する本部の講師

【岩見沢】華道家元池坊の巡回講座が6月27日、サンプラザで開かれた。主管の岩見沢支部（岡村郁子支部長）などから約100人が参加し、本部の講師から立花の基本などを熱心に学んだ。

1952年から毎年、全国約180か所で開いており、池坊としては最大規模の講習会。550年にわたって受け継がれてきた心と技を、誰でも花を気軽に楽しめる内容を工夫して実施している。

この日は午前、午後の2部制で行われ、池坊中央研修学院の倉田克史講師が講義。「生花の本質を探る」とのテーマから説き起こし、華道の精神を表す「花逍遥」までみっちりと指導した。

立花入門カリキュラムでは、作品をつくりながら「花器は指定花器を」「真の高さは花器の約3倍」「真の出は中段除」などの要点を指摘。参加者はテキストも参照しながら熱心に学んでいた。

【末永直樹】

青少年問題協議会

スマホの使い方で指針

保護者向けに簡潔メッセージ リーフレットにして配布へ

スマホ等に関する指針を決定した青少年問題協議会

【岩見沢】市青少年問題協議会（会長・松野哲市長）は6月29日、であえーる岩見沢3階会議室で会合を開催。本年度の事業計画のほか、専門委員会が検討したスマートフォン等に関する指針を決定した。指針は今秋ころまでにリーフレット化して順次、児童生徒や保護者に配布し、啓発する考えだ。

協議会が決定した指針は、学校・保護者の代表ら5人の専門委員会が今年5月までに2度の会合を開き「ゲーム・インターネット・SNSに関する家族の約束」と題して原案を作成。ネット依存や集中力低下、視覚中心をキーワードに、子どもたち、保護者向けの簡潔なメッセージで表現し、呼びかけている。

この日の協議会で決定した「一約束」は、昨年度中に発信したメッセージ「ネット社会を生きる子どもたちの未来のために」とあわせ、今秋ころまでにリーフレットを作成する考え。子どもたちや保護者を中心に広く配布し、家庭や友人同士のルールづくりを啓発する。

このほか、本年度の事業計画として、児童館スポーツレク交流会や、かるた大会などの開催を決定。会合で舛甚和俊教育長は「岩見沢の子どもたちの健やかな育成を目指し、子どもたちが未来の大きな夢を実現するため、今後も力添えをいただきたい」と期待を寄せた。

【新田一寛】

1周年謝恩キャンペーン

居酒屋の「パス・タン」 13～15日まで3日間

13～15日謝恩キャンペーンを実施するパス・タン

【岩見沢】今月14日で1周年を迎えるカフェ&居酒屋「Passe・Temps（パス・タン）」が3日間限りの謝恩キャンペーンを実施する。山崎和光店長は「あっという間の1年でした。今後も皆様に寛いでいただける雰囲気、メニューを提供していきます」と呼びかける。

仏語で「息抜き」を表現する同店は、サイフォン機が時間をかけて抽出するオリジナルコーヒー（250円）や手作りデザート、一番人気のナポリタンパスタは、500㌘までワンコイン500円で提供するなど、店名の通り、気軽にゆっくりと寛ぐことができる。幅広い年齢の主婦層が集うほか、近隣の大学生の人気も高く、利用客のニーズに合わせたメニュー改編にも取り組んでいる。

今月14日で迎える1周年にあたり、同店では開店記念日と前後の両日、13～15日の3日間で謝恩キャンペーンを実施する。イベント内容は各日で異なり、詳細は7月から店頭で発表している。

「1年間のご愛顧に謝恩価格で応えていきます」と山崎店長。店前には1車限定のテラスも設けるなど、趣向を凝らし続けるパス・タンに「どうぞ気軽にご来店を」と呼びかける。

【新田一寛】

また神社横交差点で事故

車と車が衝突

6月29日に神社横交差点で起こった車両の衝突事故

【岩見沢】13西1の交差点で6月29日、普通乗用車と作業用乗用車による衝突事故が発生。普通自動車の運転者が軽傷のもよう。

事故は午前11時頃に発生。光陵中方向から市役所に向かって走行していた普通自動車に、市道東山公園通をスポーツセンター方向に直進する作業用乗用車が衝突した。作業用乗用車は、一旦停止し左折する普通乗用車を追い越し衝突したもよう。

事故現場は、岩見沢神社東にある鳩が丘記念緑地の交差点で、6月2日には通学児童を巻き込む人身事故が発生したばかりだった。

160人が「出会い」求めて

「ゆあフェス」焼肉囲み

【岩見沢】岩見沢青年会議所（JC、今村敏彰理事長）は6月26日、4西2のぷらっとパークで20～40歳の若者の交流パーティー「ゆあフェス」を開き、約160人が焼き肉を楽しみながら親睦を深めた＝写真＝。

まちづくりに興味を持ってもらい、次代を担う若者の輪を広げようと、昨年初めて開催したイベント。定員を大幅に上回る参加者を得て好評だったことから、今年も継続することにした。

肌寒い天候となったが、開場から続々と参加者が来場し、ドリンク片手にしちりんで焼き肉を楽しみながら交流。全員参加のフラフープやバルーンアートなど一体感を味わう企画もあり、盛り上がっていた。

【末永直樹】

ファッションショーなど

「空知の風」地域交流

【岩見沢】社会福祉法人空知の風（成澤哲雄理事長）の「第4回地域交流祭」が6月28日、5西11の「たのしいどう」で行われ、利用者や保護者、地域住民らが縁日気分を満喫した＝写真＝。

昨年に続いて今年も好天に恵まれた交流祭。会場には焼きそばや焼き鳥、ビールなどの模擬店が出たほか、同法人が運営する「きっちんどう」の肉巻きおにぎりも販売され、人気を集めた。

ダンスやファッションショー、餅まき、大抽選会などのステージイベントも盛りだくさんに展開され、空知の風が運営する利用者と近くの地域住民が交流を深めていた。

【渡辺英一】

街かどリレーエッセー 407

支えあいのワッ。

岩見沢家庭生活カウンセラークラブ代表

髙橋　美智子さん（69）

家庭生活の悩み相談を

前川さんは、お姉さんみたいな存在です。頼りにしています。

私は新潟県生まれで、父の仕事の関係で戦後すぐに苫小牧へ。道教育大岩見沢分校を卒業し、音楽の教員になりました。結婚して退職後は、ピアノ教室を主宰、平成2年からは家庭生活カウンセラーの勉強をして、9年に認定されました。

現在はいわなびで月・水・金と開設している家庭生活相談窓口で相談員をしています。私も経験がありますが、誰にも話せないのが一番つらいこと。家庭生活上のどんなお悩みにも耳を傾けます。一人で悩まず、ぜひTEL23・8982へご連絡ください。

岩見沢家庭生活カウンセラークラブでは昨年から代表を務めています。コーラスグループで老人施設を訪問したり、本の朗読や傾聴のお勉強をしたりしています。特に音楽とカウンセリングには通じるところがあります。今後も活発に活動していきたいですね。

次は尊敬する大先輩です。

【末永直樹】

次号はだれ？